



やな ぜ

令和6年2月第10号 発行責任者 新村 幸江

やな ぜ 魂

ともに進む

〈共感・共汗・共歓〉



たくましく
あかるく
あたたかく

◇「ありがとう」の言葉の力 ～6年生、仲間の役に立っていたことを実感！～

今年度の6年生を送る会。下級生のありがとうの気持ちが「ありがとうの花」となり、体育館いっぱい咲き誇るかのように、心とみ、心温まる会となりました。言葉で、歌で、ダンスで、合奏でと各学年の創意工夫により感謝の意を6年生に伝えました。全校生による合唱「ありがとうの花」では、声を響かせ真剣に歌っている姿に思わず涙腺が緩み、教職員も感動しきりでした。

6年生は、自己の成長を映像から振り返ったり、担ってきた役割の意義を考えたり、有用感を実感したりして、歓びに満ちた表情に。さらに、下級生からのメッセージを胸に、中学校への希望、自信をもって頑張ろうとする前向きな姿勢にもつながりました。一方、5年生はあこがれの存在だった6年生を目指し、これから自分が学校をリードしていく自覚と責任を高めていました。



4年生作成のアーチ

入場する6年生を1年生がエスコート



1年生



3年生

1～3年生は、替え歌の合唱や合奏に、メッセージを加えて披露。



4年生 メッセージと「親子ふれあい活動」で習得したダンスを披露。



5年生：合奏「ルパン三世」、6年間の成長アルバム作成、突撃インタビュー実施。



6年生からのお礼の演奏「情熱大陸」



2年生

◇冒険活動教室 5年生 ～イニシアティブゲームで強めた結束力～

「どうすればできるか」を考え抜いたイニシアティブゲーム。仲間との励まし合いはもちろん、方法を検討しての試行錯誤。「うまくいかない」と半ばあきらめかけそうな雰囲気もあり。その中で勇気ある一言があり。再度立ち上がる姿があり。遂にゴールに達して歓び合う瞬間があり。各班が創り出したストーリーは、かけがえのない思い出となりました。子供たちは自分の殻を破り、新たな自分に気付いたり、仲間の存在のありがたさを実感したり。協働する体験を通して、たくましさを増した5年生の、今後の活躍に注目です。



◇「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの肯定的回答割合比較表 (%)

	評価項目 (※B3以降については、教職員への質問項目)	児童生徒		教職員		保護者		地域住民	
		R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
A1	児童生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。	※	★90.9	※	100.0	※	88.4		
A2	児童生徒は、思いやりの心をもっている。	※	89.4	93.9	97.0	94.2	92.3	※	100.0
A4	児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。	※	★90.2	93.9	100.0	92.0	90.6	※	100.0
A5	児童生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。	※	88.9	※	90.9				
A7	児童生徒は、 宇都宮の良さ を知っている。	84.6	86.1	90.9	93.9	73.4	77.1		
A11	教職員は、 いじめ が許されない行為であることを指導している。	97.7	★97.0	100.0	100.0	80.0	82.6	※	95.2
A12	教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。	95.2	★95.0	100.0	100.0	87.6	90.9		
A13	学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。	※	★94.1	※	100.0	※	89.8	※	100.0
A14	教職員は、分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。	97.5	★94.8	100.0	97.0	86.9	85.7		
A17	学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。	※	83.1	※	97.0	75.7	82.6	※	95.0
A18	学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。	87.4	88.1	97.0	100.0	87.1	★90.7	※	95.0
B1	児童生徒は、 時と場に応じたあいさつ をしている。	※	85.7	90.9	84.8	82.2	78.2	89.5	90.5
B2	児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。	※	★91.1	90.9	93.9	94.7	89.6	※	95.0
B3	教職員は、 保護者と連絡を密 にしながら、指導に当たっている。		86.1		100.0		▲78.4		
B4	教職員は、児童の交友関係を見守り、仲良く安心して生活できる集団づくりを行っている。		★93.5		100.0		88.9		
B6	教職員は、 学校や家族が読書しやすい環境 となるよう、心豊かな児童の育成に努めている。		▲86.1		97.0		▲86.8		
B7	学校は、学校だよりや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。				100.0		★94.6		100.0

全体的にみて・・・

○児童は、ほぼ全ての項目で数値指標を達成！

B6「読書環境の充実」以外、すべての項目で数値指標を達成しています。中でも 90%以上の肯定的回答を達成した項目は A1「主体的な学習の取組」A4「健康や安全に気を付けて生活」B2「きまりやマナーを守って生活」、A12「ともに認め励まし合うクラスづくり」B4「自分の学級の居心地のよさ」、A11「いじめ対策の熱心な取組」A13「明るく生き生きとした学校生活」A14「分かる授業」でした。自ら考え判断し行動する生活・学習習慣を身に付けてきたことや、相手意識を高め相手の良さを見つけ合う関係づくりに努めてきたこと、児童の活躍の場を増やしてきたことの成果とみられます。

○保護者の肯定的回答から見えてきた課題は・・・

A18「学校の教育活動や学校運営の充実」B7「情報発信・提供」については、90%以上の肯定的回答を得ているものの、B3「保護者との密な連携」においては 80%を下回っています。また、A7「宇都宮の良さの理解」B1「時と場に応じたあいさつ」A11「いじめ対策」B6「読書活動の充実」では、数値指標を達成していません。学校・児童会・学年学級等での具体的な取組について、更なる発信の工夫が必要であると受け止めています。

次年度は、家庭・地域とともにある開かれた学校づくりを念頭に、子供が集団の中で学ぶ主体的な姿を発信したり、参観していただいたり、親子でともに考えたりと、一層「ともに進む～共感・共汗・共歓～」を前面に謳う取組に努めてまいります。

※詳細の学校評価書については、3月1日(金)にHPに掲載いたします。

◇旭中学校長からの話をきっかけに ～小中一貫教育の意義を考える～

「中学校では、体育館で集会等をやるときには、全校生が静かに待つ中、先生方が入っていきます。」と聞いた瞬間、背筋が伸びました。「そうだ、小学校でもやってみればできるようになる。」小中9年間を通して育みたい資質・能力を共有し、実践を重ねることで、児童生徒の当たり前の質の向上は図れていきます。今後も、価値ある9年間の学びを目指し、小学校から挑戦する実践を続けてまいります。